

**株式会社網屋の株式を取得し、両社顧客へのクロスセル・アップセルを強力に推進
中堅・中小企業向けにちょうどいいログソリューションをメニューに追加し業績拡大を実現**

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区海岸1-15-1、代表取締役社長：青柳史郎、証券コード：4417、<https://www.gsx.co.jp/>、以下、GSX）と株式会社網屋（本社：東京都中央区日本橋浜町3-3-2、代表取締役社長：石田 晃太、証券コード：4258、<https://www.amiya.co.jp/>、以下、網屋）は、8月16日に締結した戦略的業務提携をさらに一步進め、GSXが網屋の株式を取得します。GSXは「Alog」をサービスメニューに追加、中堅・中小企業向けにちょうどいいログソリューションを提供することで業績拡大を実現して参ります。

■網屋の株式を取得することにより創出されるシナジー

GSX、網屋の両社は従業員規模100名から5,000名の企業を主力ターゲットとしている共通点がある一方、取り扱い商材が異なる点から、両社顧客へのクロスセル・アップセルが有効に働きます。このシナジーを強固にするため、GSXは、網屋株式を取得し、人的交流を通じ、経営・営業・技術・マーケティングのノウハウ、及び顧客基盤の共有を行うことでシナジー実現を強力に推進します。

GSXはこれまで主要顧客である中堅・中小企業に対し「ちょうどいい機能」「ちょうどいい価格」のログ管理ツールを提供できておらず、Alogの提供を通じお客様の課題に応えることができるようになることで業績拡大を実現して参ります。

また、GSXが従来から提供しているログを起点としたセキュリティコンサルティング、サイバーセキュリティ被害発生時の調査・復旧支援などをクロスセル・アップセルすることも業績拡大に寄与します。ログツールは一度導入すると継続的に利用されることが一般的であることから、長期的な取引を通じたARPU(1社あたりの取引額)の向上、リピート率の向上にもつながります。

**■株式取得詳細**

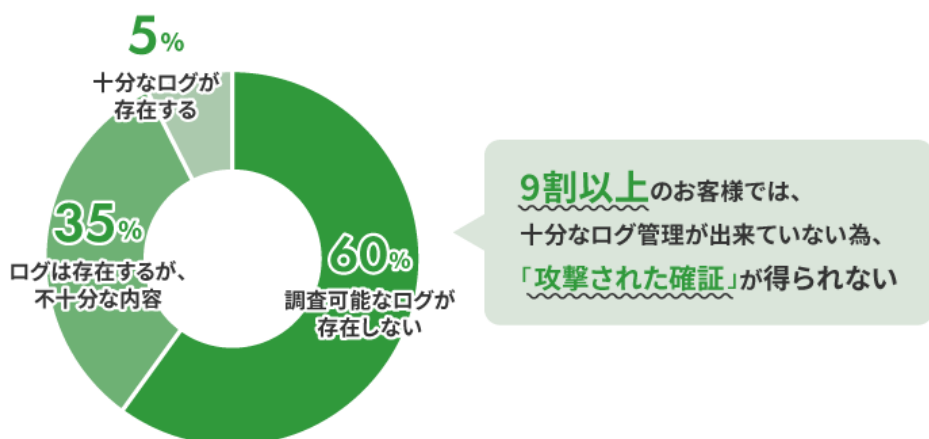
取得株式数：176,000株(4.29%)、取得実行予定日：2023年9月25日

詳細は適時開示資料にてご確認いただけます。

以下2023年8月16日プレスリリース内容

■サイバー攻撃・内部不正の増加によるログ管理ニーズの高まりと課題

GSXでは、サイバーセキュリティ被害にあったお客様の事故対応相談を年間約300件以上お受けしております。その中の9割は、ログ管理が十分ではなく、事故原因の特定が困難であるため、効果的な対策を施すことができません。また、多くの企業において、ログ保管は出来ていても、セキュリティ人材の不足・ノウハウの不足から、実効性のある運用管理を実現出来ていない課題を抱えています。



更には、近年問題となっている内部不正の検知などの観点からも、ログ管理・運用の重要性は高まっており、NISC（内閣サイバーセキュリティセンター）も1年以上のログ保存期間を推奨しています。

ログ管理の重要性が高まる中、準大手・中堅・中小企業では、ツール導入に対するコスト高とセキュリティ人材の不足が対策の進行を阻んでいます。

そのような背景の中、5,500件の契約数を誇る「ALog」を提供する網屋と、サイバーセキュリティ教育カンパニーであるGSXが戦略的業務提携に基づき協業することで、準大手・中堅・中小企業向けにログ管理ツールおよびセキュリティ人材教育サービスの提供を通じ、実効性のあるセキュリティ対策を提供します。

■スキーム：全国約400万社の準大手・中堅・中小企業にログ管理ツールおよびセキュリティ教育を提供

網屋のALogは、5,500件の導入実績を誇り、「ムズカシイをかんとんに」を製品コンセプトとし、低コストでわかりやすくログ管理ができるログマネジメントツールです。

GSXは2015年来、約8年に渡りエンジニア向けにサイバーセキュリティスキルを身に付ける「SecuriST®」「EC-Council」「ISC2」の各セキュリティエンジニア養成講座を累計9,000人に提供しています。

業種や企業規模を問わず、ログ管理の重要性は年々高まっており、大多数の企業にとって実効性のある運用を実現するためには「使いやすく・低コストのツール」と「セキュリティ人材」が揃うことが重要といえます。両社は、全国約400万社の準大手・中堅・中小企業のお客様に対し、「ALog」と「サイバーセキュリティ教育講座」をちょうどいいサービスとして、ちょうどいい価格で提供・販売することで、企業が最低限取り組むべきセキュリティ対策およびセキュリティ人材の確保を実現し、企業の自衛力向上を推進します。



ちょうどいいサービス ちょうどいい価格

■ポイント①：準大手・中堅・中小企業におけるログ管理市場の高いポテンシャル

サイバー攻撃の激化・内部不正の増加によりログ管理のニーズは高まっている一方で、高機能、大容量のツールは高価であり、機能が複雑になりがちであることから、導入を断念するお客様も少なくありません。GSXはこれまで主要顧客層でもある準大手・中堅・中小企業に対し「ちょうどいい機能」「ちょうどいい価格」のログ管理ツールを提供できておりませんでした。網屋と戦略的業務提携を結ぶとともに、ALogの評価・検証を行い、GSXのお客様に対しての有用性を確認しました。特にGSXが提供しているコンサルティングサービスとの相性がよく、コンサルティング結果から得られたログ管理に関する課題への対策としてALogを提供するなど、現在提供中のサービスと連携した展開を推進して参ります。

■ポイント②：実効性を高めるセキュリティ人材教育の必要性

ログを活用したSIEM(Security Information and Event Management)運用を実行していくため、セキュリティ人材が重要な役割を担います。網屋では2023年4月にセキュリティ人材育成を目的とした『サイバーセキュリティトレーニングアリーナ』を開設しました。GSXは同アリーナを通じ「SecuriST®」「EC-Council」「ISC2」の各種コンテンツを提供することで、セキュリティ人材育成を加速して参ります。

*Security Information and Event Managementとは？

ITインフラやセキュリティ製品などから出力されるログを一元的に集約、保存し、それぞれのデータを相関的に分析・解析したうえで機器の異常やサイバー攻撃、インシデントの発生を検知する事を目的とした管理の仕組みです。

◆株式会社網屋について

セキュリティの力で社会の成功を守る、サイバーセキュリティ企業。AIテクノロジー搭載のログ分析ソリューションを主力とした「データセキュリティ事業」と、「ICTインフラのクラウド化」をコンセプトにSaaSネットワークを提供する「ネットワークセキュリティ事業」を展開。国産メーカーならではの独自性と扱いやすさで、セキュリティ市場をリードしています。

社名：株式会社網屋

本社所在地：〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町 11F

代表取締役：石田 晃太

証券コード：4258

上場証券取引所：東京証券取引所グロース市場
資本金：60,342千円（2023年6月末時点）
設立：1996年12月
コーポレートサイトURL：<https://www.amiya.co.jp/>

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名：グローバルセキュリティエキスパート株式会社
東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム4F
代表者：代表取締役社長 青柳 史郎
証券コード：4417
上場証券取引所：東京証券取引所グロース市場
資本金：529,833千円（2023年3月末）
設立：2000年4月（グローバルセキュリティエキスパートへの商号変更日を設立日として記載）
コーポレートサイトURL：<https://www.gsx.co.jp/>

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【本リリース内容に関するお問い合わせ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 経営戦略室 マーケティング部
TEL：03-3578-9001 MAIL：mktg@gsx.co.jp